



信州大学大学院  
人文科学研究科(修士課程)案内  
2016

社会人にも  
開かれた  
大学院!!

地域文化の探究、言語文化への洞察  
知への冒険が始まる

人文科学研究科は1982年(昭和57年)に創設され、現在は地域文化および言語文化の2専攻から構成されている。2つの専攻の相互協力により、人文科学の広範囲な学問領域を総合的に研究し教育することを目的とし、広く人間の歴史・思想・文化に関して、その本質・構造・普遍性・特殊性を、従来の学問領域に従いながらもそれらに囚われることなく、学際的・比較論的に追求している。教育の目的とするところは、研究者の育成はもとより、深い人文学の素養を身につけた個としての人間の養成にあり、社会人、外国人留学生を広く受け入れつつ、地域社会や国際社会での学術交流に貢献している。

人文科学研究科の「理念」



さまざまな文化や価値観が地球的規模で相互に交錯し、葛藤や融合を繰り返している時代の世界を生き抜くための、手がかりとなる「知の方法」を探る。具体的にそれは、高度な論理的思考と科学的分析によって、混迷し錯綜する諸問題の根源を解明し、創造的な指針を得ることである。信州大学大学院人文科学研究科は、あらゆる科学や応用技術を支えるもっとも基本的かつ実践的の基盤である、柔軟な認識能力・多角的分析能力・豊かな表現力をもつ人材の養成をめざす。

信州大学大学院人文科学研究科(修士課程)では、自ら創造的な研究活動を続ける教員たちの多彩な授業により、論理的思考と実践的問題解決法、表現能力を身につけさせる。さらに少人数のゼミによる徹底した指導のもとに、院生それぞれの問題意識を深め、独自のテーマにもとづいて、実践的で高度な研究論文の作成を指導する。

# 新しい時代の扉を開く 人文科学の世界へようこそ



キーワードは  
知的・文化的創造力!!



## 吉田正明研究科長からのあいさつ

今日の世界は激しく変容し、グローバル化の波が社会の隅々にまで押し寄せ、先の見通しの立たない時代です。そうした混迷の時代だからこそ、人間の本质、本源に迫り、長きに渡って英知を蓄積してきた人文学を今こそ改めて深く学ぶ意義は大きいと思います。

本研究科では現代を生き抜く手がかりとなる「知の方法」を探り、あらゆる科学技術を支える基盤である柔軟な認識能力、多角的分析能力、豊かな表現力を養っていきます。独創的な高度な研究を続ける気鋭の教員たちによる多彩な授業と徹底した研究指導によりその教育目標を達成します。社会人にも広く門戸を開いていきたいと思ひます。

## 専攻及び募集人員

※私費外国人留学生はこの表とは別に各専攻で若干人を募集します。社会人特別選抜を別に実施しています。

※教育職員免許状は専攻ごとに（ ）内の教科の専修免許状を取得できます。

### 地域文化専攻

募集人員 5人

- 哲学・思想論領域
- 文化情報論領域
- 心理学領域
- 日本史領域
- 社会心理学領域
- 地域文化史領域
- 社会学領域
- 世界史領域

取得できる教員免許状 (平成27年度現在)

中学校 教諭専修免許状(社会)  
高等学校 教諭専修免許状(公民)  
高等学校 教諭専修免許状(地理歴史)

### 言語文化専攻

募集人員 5人

- 日本文学領域
- ドイツ語学・ドイツ文学領域
- 日本語学・日本語教育学領域
- フランス語学・フランス文学領域
- 中国語学・中国文学領域
- 英語学・英米文学領域
- 比較文学領域
- 芸術コミュニケーション領域

取得できる教員免許状 (平成27年度現在)

中学校 教諭専修免許状(国語)  
高等学校 教諭専修免許状(国語)  
中学校 教諭専修免許状(英語)  
高等学校 教諭専修免許状(英語)  
中学校 教諭専修免許状(ドイツ語)  
高等学校 教諭専修免許状(ドイツ語)

## 求める人物像 大学卒業生、社会人、外国人留学生など

出願手続等の入試情報については、ホームページをご覧ください。

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/prospective/graduate/>)

社会人の方は、職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修する「長期履修学生制度」を申請することができます。

〒390-8621 松本市旭3-1-1 信州大学人文学部内  
信州大学大学院人文科学研究科入試事務室 TEL.0263-37-2236

# 多彩な専門領域と 研究・教育スタッフ

(平成27年7月現在)



## 地域文化専攻

地域文化専攻は、「哲学・思想論」「心理学」「社会心理学」「社会学」「文化情報論」「日本史」「地域文化史」「世界史」の8つの専門領域からなります。この8専門領域は、古典的哲学から最新の情報科学までの充実した教員グループによって構成・運営されています。文字通りの少人数教育と多彩な研究計画立案が可能な体制は、信州の豊かな自然環境と相まって、意欲と能力を兼ね備えた学生にとって理想的な思索と研究の機会を提供するでしょう。教員との学問的交流を通じて、学生の皆さんがこれまでに習得した基礎学力や社会経験を深化させ、専門学会や現実社会での創造的活動に携わるための能力をさらに向上させられるような教育研究体制を整えています。

### ▼ 哲学・思想論領域

早坂 俊廣 【中国哲学・比較思想】	護山 真也 【インド仏教認識論】
篠原 成彦 【言語哲学・心の哲学】	三谷 尚澄 【倫理学・西洋哲学】

### ▼ 心理学領域

今井 章 【実験心理学・心理生理学】	高瀬 弘樹 【認知心理学・実験心理学】
--------------------	---------------------

### ▼ 社会心理学領域

長谷川孝治 【対人社会心理学】	清水 健司 【臨床心理学】
岡本 卓也 【社会心理学(集団・コミュニティ)】	

### ▼ 社会学領域

辻 竜平 【社会ネットワーク論】	茅野 恒秀 【環境社会学・地域社会学】
------------------	---------------------

### ▼ 文化情報論領域

菊池 聡 【認知心理学】	佐藤 広英 【情報コミュニケーション学】
水原 俊博 【消費社会論】	

### ▼ 日本史領域

山本 英二 【日本近世・近代史】	大串 潤児 【日本近現代史】
------------------	----------------

### ▼ 地域文化史領域

笹本 正治 【日本中世・近世史】	佐藤 全敏 【日本古代・中世史】
------------------	------------------

### ▼ 世界史領域

久保 亨 【中国近現代史】	豊岡 康史 【中国近世・近代史】
佐藤 真紀 【フランス近代史】	黒田 祐我 【中世スペイン史】

## 言語文化専攻

言語文化専攻は、「日本文学」「日本語学・日本語教育学」「中国語学・中国文学」「比較文学」「ドイツ語学・ドイツ文学」「フランス語学・フランス文学」「英語学・英米文学」「芸術コミュニケーション」の8つの専門領域からなります。ここでは、日本や世界の多様な言語、文化を専門的に研究することができます。各国の言語と文化について専門的に追求するそれぞれの領域に加えて、複数の言語、文化の考察にねざした比較を行う領域、美術やダンス、音楽といった芸術表現をカバーする領域があり、多領域にわたるスタッフが、言語文化に関わる諸問題を専門的に研究・指導します。また、教員スタッフの緊密な協力体制により、多様な研究テーマの多角的、総合的、比較論的な分析・考察も可能となっています。

### ▼ 日本文学領域

渡邊 匡一 【日本中世文学・宗教文化】	松本 和也 【日本近現代文学】
速水 香織 【日本文学】	

### ▼ 日本語学・日本語教育学領域

山田 健三 【日本語の歴史的研究】	沖 裕子 【現代日本語学・日本語教育学】
白井 純 【日本語史学】	坂口 和寛 【日本語教育学】
石神 照雄 【日本語文法論・現代日本語論】	

### ▼ 中国語学・中国文学領域

氏岡 真士 【中国古典文学】	伊藤加奈子 【現代中国語学】
----------------	----------------

### ▼ 比較文学領域

野津 寛 【西洋古典文学】	渋谷 豊 【比較文学・フランス文学】
---------------	--------------------

### ▼ ドイツ語学・ドイツ文学領域

株丹 洋一 【19世紀末ドイツ文学】	磯部 美穂 【現代ドイツ語学】
--------------------	-----------------

### ▼ フランス語学・フランス文学領域

吉田 正明 【近代フランス詩】	鎌田 隆行 【近代フランス小説】
-----------------	------------------

### ▼ 英語学・英米文学領域

伊藤 壘 【英語史・中世英語文献学】	飯岡 詩朗 【アメリカ映画・映像文化】
花崎 美紀 【言語人類学・英語意味論】	加藤 鉦三 【英語と日本語の統語論】
杉野健太郎 【アメリカ文学・文化】	

### ▼ 芸術コミュニケーション領域

金井 直 【美術史学】	北村 明子 【舞踊・パフォーマンス論】
濱崎 友絵 【音楽学】	

### ▼ 共通科目

近藤 富英 【社会言語学・英語教育】	橋本 純一 【スポーツ文化論】
--------------------	-----------------



## 在学生・修了生からのメッセージ

### ● 植田 拳太

地域文化専攻1年(哲学・思想論)

私は、分析形而上学の観点から、因果性について研究しています。信州大学の人文学部は、少人数授業が特色ですが、人文科学研究科においてもそれは変わりませんし、むしろ顕著になります。私が主に扱う文献は英語で書かれていますが、授業では文献の正確な読解、そしてそれを再構成し、自らの研究に活かすための訓練が行われています。また、授業で扱われる文献は学生各々の研究テーマに関連するものであり、我々の関心そのまま授業内容に反映されることとなります。

人文科学研究科は、静かで、自然が豊かな信州の地に位置しています。学問をするにはこれ以上ないくらいの環境でしょう。私たちはこの地で、他の仲間との切磋琢磨、他分野の先生方との交流を経験することで、知的想像力を鍛えていくのです。

### ● 内山 綾華

言語文化専攻2年(芸術コミュニケーション)

私は、画家が自身の制作の場を描く「アトリエ画」について研究しています。私の研究分野は芸術ですが、人文科学研究科の授業では、自身の分野の授業だけではなく他分野の授業も履修しています。先生方は幅広い知識をお持ちで、自身の視点を広め、さらに新たな知識を得る事が出来ます。それと同時に研究についても多角的にご指摘をいただくこともできます。

シンポジウムは人文科学研究科の先生方に自身の研究内容を示す場になります。普段、授業等で交流のない先生方とお話し、意見をお伺いすることができます。また大学院生間の交流も盛んで、他分野の学生と会話しながら意見や情報を交換し合っています。

### ● 深津 周太

平成19年度言語文化専攻(日本語学)修了・静岡大学教育学部専任講師

本研究科を修了したのが2008年。名古屋大学大学院の博士後期課程を経て、静岡大学に着任して今年で2年を迎えます。また、大学院で本格的に研究活動をスタートさせてから、ちょうど10年が経ちました。

研究を進めていくうちに、問題がさらなる広がりを見せることもあれば、関心の在りかそのものが変化する場合もあります。しかし、向き合う問題が変わっても、それに取り組む「方法」が揺らぐことはありません。本研究科で過ごした期間に得たものは少なくありませんが、その最たるものが今も研究活動の基盤となっている研究方法そのものでした。それは研究の道における財産であり、今後も失われることのない確固たるものです。

## 年間計画

- 4月 ● 入学式・新入生ガイダンス  
前期授業開始
- 5月 ●
- 6月 ● 学位論文題目提出  
開学記念日
- 7月 ●
- 8月 ● 前期授業終了  
前期試験  
夏季休業  
(学会へ出席・発表)
- 9月 ● 大学院入試(前期日程)
- 10月 ● シンポジウム  
後期授業開始
- 11月 ●
- 12月 ● 学位論文提出  
冬季休業  
後期授業終了  
後期試験  
春季休業
- 1月 ● 大学院入試(後期日程)  
シンポジウム
- 2月 ● 『院生会報 人文科学研究』発行
- 3月 ● 学位記授与式

**国内外の学会へ出席・発表** 国内外で行われる学会等へ出席し、研究発表を行います。

**シンポジウム** 人文科学研究科では年2回、前期末と後期末にシンポジウムを開催し、2年間にわたる研鑽の道標とします。シンポジウムでは、大学院生は自らの研究について発表をおこなうのはもちろん、専門領域の異なる仲間や教員とアクティブな議論を展開することによって、「学際的な知の研鑽」をめざします。

## 人文科学研究科優秀論文賞受賞者の修士論文題目

- 【平成22年度】 ● 川住 賢太 ルソーにおける自然状態と社会状態
- 佐藤ゆかの 『字鏡集』の文献学的研究
- 山田 昇平 中近世日本語における濁音・鼻音記述をめぐって
- 【平成23年度】 ● 加藤 夏希 『諏訪大明神絵詞』の研究
- 【平成24年度】 ● 小川 祐輔 言語理解と規範性
- 上條 智媛 A Semantic Approach to English Teaching
- 梁瀬 愛美 両大戦間の訳詩
- 【平成25年度】 ● 田村 友佳 ジャック・プレヴェール研究
- 丸山 沙織 述部構造再考
- 【平成26年度】 ● 早野 勇馬 An Analysis of English Prepositions and its Application to English Pedagogy



アクセス



## 信州大学大学院 人文科学研究科

〒390-8621 松本市旭3-1-1

TEL. 0263-37-2236

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/graduate/>

JR松本駅お城口(東口)を出て右前方の「アリオ」1階バスターミナルでのりば1の「信大横田循環線」または、「浅間線」に乗りし(約15分)、「大学西門」下車、徒歩約2分。\*JR篠ノ井線は、北松本駅に停車しません。